

令和2年度 富岡看護専門学校 自己点検・自己評価

1. 自己点検・自己評価についての取組み

富岡看護専門学校では、教育活動及び学校運営の質保証ならびに質向上を目指し、平成22年より自己点検・自己評価会議を立ち上げ、継続して「自己評価」を実施し、結果の公表を行ってきた。また、令和2年度には「学校評価実施要綱」を策定し、組織としてより計画的・効果的に学校評価に取り組めるよう整備を進めている。

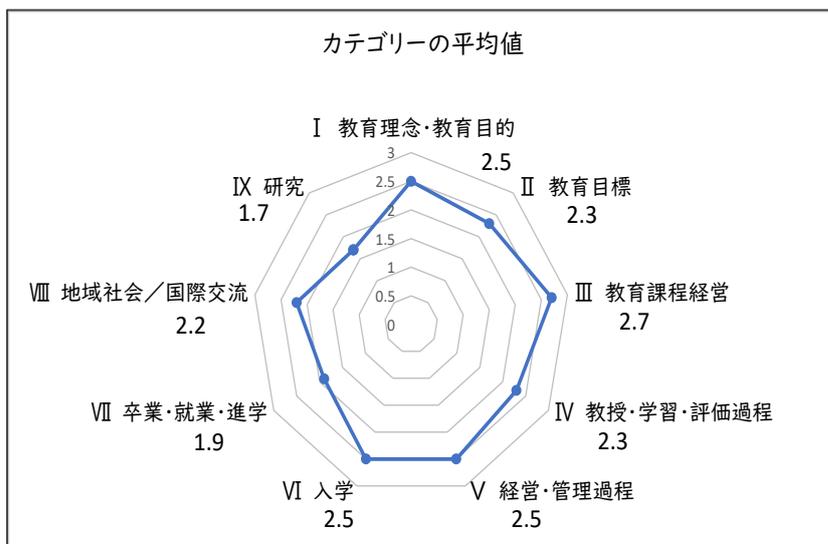
今回、厚生労働省「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針」が示す評価内容に基づき自己点検・自己評価を行ったため、その結果を報告する。

2. 自己点検・自己評価結果

9カテゴリー125項目を3段階の評価基準(3:当てはまる、2:やや当てはまる、1:当てはまらない)により評価した。

1) 各カテゴリーの評価

カテゴリー	平均値
I 教育理念・教育目的	2.5
II 教育目標	2.3
III 教育課程経営	2.7
IV 教授・学習・評価過程	2.3
V 経営・管理過程	2.5
VI 入学	2.5
VII 卒業・就業・進学	1.9
VIII 地域社会／国際交流	2.2
IX 研究	1.7
	2.3

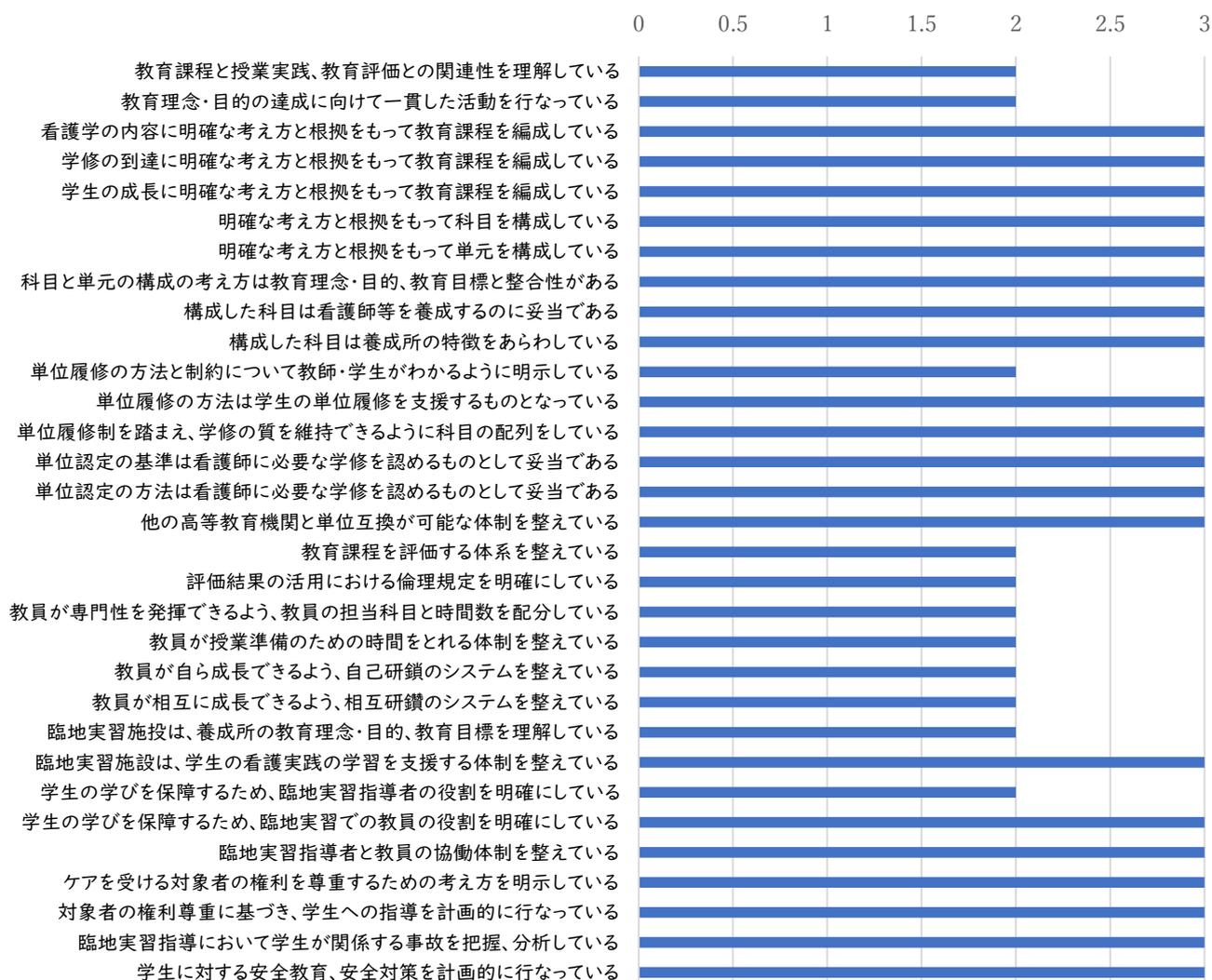


以上の結果から、カテゴリー「I 教育理念・教育目的」「III 教育課程経営」「V 経営・管理過程」「VI入学」の平均値は 2.5 以上の高値であった。「VII卒業・就業・進学」「IX研究」は 2.0 以下の低値であったが、今回の評価で1.5以下を示すカテゴリーはなかった。

2) カテゴリー下位項目の評価

平均値が高値であったカテゴリー「III 教育課程経営」及び低値であった「VII 卒業・就業・進学」「IX 研究」の下位項目の各評価点をグラフに示す。

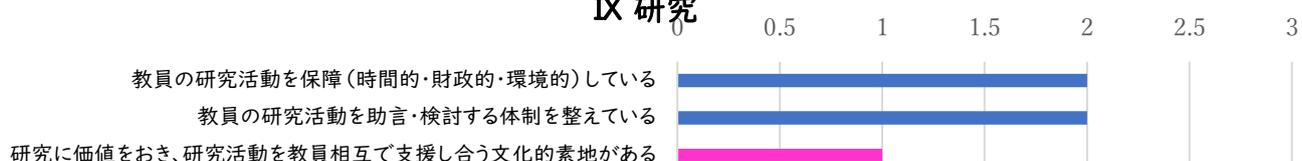
Ⅲ 教育課程経営



Ⅶ 卒業・就職・進学



Ⅸ 研究



3. 今後の課題

カテゴリー「Ⅰ教育理念・教育目的」「Ⅱ教育目標」「Ⅲ教育課程経営」「Ⅳ教授・学習・評価過程」の下位項目で評価が2(やや当てはまる)以下の項目に対しては、令和3年度から令和4年度にかけて重点的に見直しや検討を行い、令和5年度に予定されているカリキュラム改正に反映していく。

また、評価が低値であった「Ⅶ卒業・就業・進学」の下位項目〈卒業生の活動状況を把握し、統計的に整理している〉〈卒業生の活動状況の分析結果を、教育理念・教育目的、教育目標、授業の展開に活用している〉、「Ⅸ研究」の下位項目〈研究に価値をおき、研究活動を教員相互で支援し合う文化的素地が養成所内にある〉に対しては、今後計画的に改善に取り組んでいく。

今年度は、まず「Ⅶ卒業・就業・進学」に関して、過去5年間の卒業生の活動状況(卒業後の就業先)を把握し、統計的に整理していく。同時に分析をすすめ、分析結果を教育理念・教育目的、教育目標、授業の展開に活用できるよう努める。

令和2年度 自己点検・自己評価 学生満足度調査

I 調査概要

本校の教育課程や学生の学習環境を改善することを目的とし、3年生を対象に満足度調査を実施した。

1. 調査日 令和3年3月5日(金)

2. 調査対象 3年生(37回生) 29名

3. 調査方法 質問紙、留置き法

「看護師等養成所の自己点検・自己評価指針」に基づき、今回調査を行うカテゴリと下位項目を抽出し、満足度を測定する質問文を設定した。満足度は4(そう思う)から1(思わない)までの4段階評価とした。

4. 回答者数(回収率) 29名(100%)

II 調査結果

調査項目		質問内容	満足度評価	
カテゴリ	下位項目			
I 教育理念・教育目的	意義と周知	当校の教育理念を知っている	3.3	
		教育目標は理解できる表現となっている	3.2	
II 教育目標	明確性、実現可能性	教育目標は学習活動を進めるうえで役立った	3.2	
		教育目標が達成できた	3.1	
		教育課程編成	教育課程の構造がわかりやすく示されている	3.1
III 教育課程経営	科目・単元構成	シラバスに各科目の目標はわかりやすく表記されている	3.1	
		授業は科目目標が達成できるよう構成されている	3.2	
		教授計画はわかりやすく示されている	3.1	
	教育計画	単位履修方法について相談をすることができる	3.1	
		各科目の開講時期や順序は学生が理解しやすいように構成されている	3.1	
		授業の開講時期や順序は各学年目標が到達できるよう工夫されている	3.1	
		教育課程評価の体系	単位認定の方法は適切に示されている	3.3
	V 経営・管理過程	施設設備の整備	大学等他の高等教育機関との単位互換性について示されている	3.3
			単位認定および成績は適切に通知されている	3.1
			教室は整備され学習しやすい環境である	3.0
実習室は物品や設備が整い演習しやすい環境である			3.2	
図書室は利用しやすく学習しやすい環境である			3.2	
視聴覚室は整備され学習しやすい環境である			3.1	
トイレは清潔に整備されている			2.7	
学生生活の支援		駐車場は利用しやすく整備されている	2.8	
		談話室は利用しやすく整備されている	3.0	
		奨学金等の情報提供や支援体制が整っている	3.1	
学校に関する情報提供		学生生活に関して相談しやすい環境が整っている	3.1	
		学習に対する支援体制が整っている	3.1	
		ボランティア活動についての情報が提供されている	3.0	
VII 卒業・就業・進学		進路選択	学習に専念するために保護者・保証人に情報提供が行われている	3.0
	学校のホームページから必要な情報が得られた		3.1	
	就職・進学の資料や情報が整備されている		3.1	
	就職・進学についての相談体制が整っている		3.1	
	国家試験対策	進学や卒業後の資格取得について考える機会がある	3.2	
		卒業生の看護実践を知る会など、話を聞く機会がある	3.1	
		1年次の国家試験対策に関する支援は充実している	3.1	
		2年次の国家試験対策に関する支援は充実している	3.1	
		3年次の国家試験対策に関する支援は充実している	3.3	

Ⅲ 結果の分析と課題

今年度、満足度の評価が高かった質問内容は、教育理念・教育目的に関する『教育理念を知っている』、教育課程評価の体系に関する『単位認定の方法は適切に示されている』『大学等の高等教育機関との単位互換性について示されている』、国家試験対策に関する『3年次の国家試験対策に関する支援は充実している』であった。

単位認定や大学等の高等教育機関との単位互換性については、学則で規定されており、学生便覧に明記し、入学時のガイダンスなどを活用して学生に理解や周知を図った結果を反映していると考ええる。

例年、3年次の国家試験対策に対する学生の満足度は高い結果となっている。今年度、本校の看護師国家試験合格率は100%であった。5年連続して全員合格を果たしており、国家試験対策が効果的に実施できていると同時に、看護師養成所としての教育の水準を維持できていると考ええる。

満足度の評価が低かった質問内容は、施設設備の整備に関する『トイレは清潔に整備されている』『駐車場は利用しやすく整備されている』であった。

校舎は、2005年に全面改修を行っているが、改修から15年を経えており、今後、施設設備の修理・改修を計画的に進めていく必要がある。